区分	□ 新　規　　■ 再提案　(R4・4・14　第150回総会；長野市)			
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）		分野	□ 総務文教 □ 社会環境 □ 経済 ■ 危機管理建設
要望先	■ 国	担当省庁	国土交通省	
	■ 県	担当部局	建設部	
	□ その他	名　　称		

件名	**13　「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」の更なる推進について**
提案市	長野市
提案要旨	近年、激甚化・頻発化する災害の発生に対し、防災のための重要インフラの機能強化は不可欠であることから、「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」（以下、「５か年加速化対策」）に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、事業の計画的な推進と５か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保した継続的な取組を要望する。
提案理由	道路ネットワークは、社会経済活動をはじめ、救急搬送や災害時の緊急輸送路など安全で安心な暮らしの確保に必要不可欠である。 国・県においては、災害に強い交通ネットワークの構築、土砂災害や老朽化対策等に向けた更なる推進をお願いしたい。
現況及び課題等	本市では国道19号において、令和３年に２箇所で相次ぐ災害の発生に伴い交通規制が行われ、その内の１箇所で復旧工事に伴う片側交互通行規制が本年３月末まで約２年間にわたり行われた。特に全面通行止めの際には、地域住民は近接する狭隘な迂回路の通行を余儀なくされ、安全な通行に支障をきたす大変危険な状態が浮き彫りとなった。 こうした事態は、市民生活をはじめ広域的な社会経済活動に多大な影響を及ぼすものである。 本市のみならず、長野県は急峻で脆弱な地形を多く抱えており、頻発する豪雨等による災害発生のリスクが高い状況にある。 このようなことから「５か年加速化対策」に必要な予算・財源の確保と計画的な事業の推進が必要であり、「５か年加速化対策」後も継続的な取組のため、通常予算とは別枠での予算・財源の確保が課題である。
関係法令	